

## 重点施策2 確かな学力を育む教育課程の編成と実施

### 【施策方針】

- 確かな学力の定着と向上
- 内面に根ざした道德性の育成
- 個性の伸長、集団の一員としての自覚及び自主的・実践的態度の育成
- 自ら学び、自ら考え、よりよく問題を解決する能力や態度の育成

### 【実施状況】

#### (1) 主な施策・事業

- ① 学習指導
- ② 道德教育
- ③ 特別活動
- ④ 総合的な学習の時間
- ⑤ 外国語活動(小学校)

#### (2) 施策・事業の実施状況

##### ① 学習指導

今年度から、各校に「学力向上推進主任」を新たに任命し、自校の課題を踏まえた「学力向上推進計画」を立てさせ、学習指導法等の工夫・改善に取り組みさせた。また、愛媛県学力向上システム構築事業の一環として、県学力診断調査や定着度確認テスト等の結果を踏まえ、学校運営や授業の改善にも努めた。市教研の取組としては、小学校においては国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、体育、家庭の9部会、中学校においても、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語の9部会を編成し、全員がいずれかの部会に所属することとした。

部会の運営については、第1回研究集会を4月12日に開催し、部会ごとの研究主題、研究推進計画を策定した。第2回、第3回の研究集会をそれぞれ6月26日と11月8日に開催し、研究授業、授業研究、研究発表等を行った。テーマに迫る実践的な研修を積むとともに、確かな学力の定着と向上を目指した。また、授業のエキスパート養成事業の指定を2校(八代中、青石中)が受け、それぞれ研究授業等を行った。さらに、八代中学校が学校力アップ実践研究事業(県教委指定)を受け、「確かな学力を定着・向上させるための教科の指導方法・評価の工夫」を研究のテーマとして、研究を進めるとともに報告会を実施した。それぞれ、各校での実践の参考となるすばらしい取組であった。

##### ② 道德教育、特別活動、総合的な学習の時間

小学校においては、道德教育上学年と下学年、特別活動の部会を、中学校においては、道德教育、特別活動の部会を編成した。総合的な学習の時間については、各校の主任による小中合同部会を編成した。

部会の運営については、第1回研究集会を4月12日に開催し、部会ごとの研究主題、研究推進計画を策定した。第2回の研究集会を10月22日に開催し、テーマに迫る研究授業、授業研究等を行った。

また、新学習指導要領の実施に伴い、それぞれの全体計画の見直しを行わせ、学年間の

系統や教科間の横断的な指導等の確認を行わせた。また、各学校には、道徳教育を中心になって推進する「道徳教育推進教師」を新たに任命した。今後の指導の充実が期待できる。

### ③ 外国語活動(小学校)

小学校において、各校の主任による外国語活動部会を開催し、授業公開等を通して、研究協議を行った。また、授業公開及び研究協議を行い、指導力の向上等に努めた。市教委として、外国語指導助手コーディネーターを継続採用し、ALTの効果的な活用や、小学校の担当教諭の指導力の向上、小学校4年生以下の英語教育にも取り組んでいる。

## 【学識経験者意見】

○ 確かな学力の定着と向上に向けた取組はどの学校も急務で、新たに配置された「学力向上推進主任」を中心に自校の課題を洗い出し、どう定着・向上させていくかの検討がなされたと思う。そして、そこから出てきたものが「学力向上推進計画」で、どの学校も数値目標の獲得に力を注いだものと思われる。その結果どうであったのかを検証すると同時に、計画そのものの数値目標は妥当であったのか、無理はなかったのか…等検証して、より具体的で効果的な計画を作り上げて取り組んでほしい。

一方、1年経過したので、「学力向上推進主任」をどのポストに兼務させれば（させない方が）いいかも見えてきたのではないだろうか。

授業のエキスパートの2名、そして県の指定を受けた研究校等、その成果を自校にのみ留めず、全市的に広げてもらいたいものである。

○ 内面に根ざした道徳性を身につけさせること、望ましい人間関係を育てること、これらは学力の定着と向上にも大いに関係することである。このことの認識もしっかり持って、心に響く道徳の時間となるよう、よりよい生活を築いていこうとする態度を育てる特別活動となるよう、指導の充実を図ってほしい。

## 【自己評価】

○ 各校の学力向上推進計画の実現状況については、市教委の学校訪問（春・秋）で確認をするとともに、本市の学力の現状と課題等（検証結果）についても、校長会や教頭会等を通じて周知・指導しているところである。また、教務主任研修会や研修主任研修会等を通じて、学力向上のための指導方法や推進計画の在り方を指導している。今年度は、愛媛県総合教育センターの指導主事を迎えての出前講座等の研修を計画している。

平成25年度の本市の研究指定は、幼稚園1園、小学校2校、中学校2校である。教職員の研究会への積極的参加を促したい。

○ 平成25年度・26年度の2年間にわたり、松柏中学校が、特色ある道徳教育推進事業の研究指定校として、「自他の生命を尊重し、人とのつながりを深め、たくましく生きようとする生徒の育成」の研究主題の下、研究を進めることとなった。そこで、松柏中学校の研究推進を中核として、内面に根ざした道徳性や望ましい人間関係の構築の在り方について、市教研の関係部会との関連も図るなどして、全市的な取組となるよう工夫していきたい。